

平成28年(2016年)8月30日(火曜日)

# 新型冷茶サーバー開発 富士の西山工業

## 茶

## 況

30日

冷温熱機器製造の西山工業(富士市、小林公一社長)は緑茶などのティーバッグを使いやすくし、メンテナンス性を高めた新型ウォータークーラーを開発した。飲食店や学校などの需要喚起を図り、水出し緑茶の普及を後押しする。

と、ティーバッグがプロペラに接触して破けないようにするための仕切りが設置されている。プロペラはタンク下部から磁力で回転させる仕組みで、取り外して洗浄しやすい。ノズルや内部のチューブも取り外し可能。麦茶、紅茶、アイスコーヒー、果汁飲料などにも利用できる。県内主要企業の経営者から助言が受けられる



西山工業が開発した  
新型ウォータークーラー=29日、県庁

の「オープンインベーション静岡」を利用し、商品企画を磨き上げた。29日は小林社長ら幹部が県庁で難波喬司副知事に完成を報告した。冬に向けて温水タイプも開発するという。

藤枝 茶業関係者は気温が落ち着く秋口の需要増に期待を寄せている。

島田、金谷、川根 小売店は夏セールの最後の売り込みをしている。

榛原、相良 指導機関によると、タニヤやスリッパスの発生が管内の茶園で多く見られるという。

掛川、小笠 JA掛川市の調茶会に向け、生産者は地区ごとに出品茶を選考している。

袋井、森 産地間屋によると、フィルターインボトルの人気もあり水出し煎茶の売れ行きは好調という。